

記者発表資料 配布日時	平成 29 年 1 月 24 日 14:00
----------------	---------------------------

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、
山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、
日本海事新聞

外航クルーズ船社の方をお招きしてクルーズ活性化検討会を行います

瀬戸内海への外航クルーズ船の寄港の拡大に向けて、外航クルーズ船社の方をお招きして、更なる寄港促進に加え、新たな寄港地の開拓による訪日外国人の受入拡大を実現することを目的とし、『第2回 瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会』を開催いたします。

日 時 : 平成29年 1月31日(火) ～2月1日(水)

場 所 : グリーンヒルホテル尾道(尾道市東御所町9-1)

議事次第 : (1月31日 14:00～17:30)

- (1) 開会挨拶(中国地方整備局副局長)
- (2) 外航船社の会社概要と保有船舶、寄港地に求める入港条件等の説明(船社2社)
- (3) 尾道の観光資源の紹介(尾道市)
- (4) 瀬戸内海の観光資源の紹介(せとうち観光推進機構)
- (5) クルーズ受入施設の現状と将来計画(港湾管理者)
(岡山県、玉野市、香川県、愛媛県、今治市、宇和島市、松山市、広島県、呉市、
尾道市、三原市、福山市、山口県、島根県、鳥取県、境港管理組合)
- (6) 第1回瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会報告(せとうちホールディングス)
- (7) 閉会挨拶(中国運輸局観光部長)

(2月1日 9:00～15:00)

外航船社との個別面談(Holland America Group と Windstar Cruise の2ブース)

検討会出席予定者 : 別添1のとおり

※1月31日開催の検討会は公開とします。(2月1日の個別面談は非公開とさせていただきます)

※取材をご希望の場合は、平成29年1月27日(金)15:00までに別添2の取材申込書により申込みをお願いします。なお、当日も取材を受け付けております。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928(直通)(平日・昼間)

港湾物流企画室長 すが たかのり 菅 高德 課長補佐 よしだ ほうせい 吉田 豊成

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905(直通)(平日・昼間)

計画企画官 こけぐち きよし 苔口 聖史

瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会 出席予定者

(常任委員)

敬称略

氏名	所属及び役職
鈴木 徹	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 部長
木嶋 淳	国土交通省 中国運輸局 観光部 部長
鈴川 篤志	中国地域観光推進協議会 事務局長
村橋 克則	(一社)せとうち観光推進機構 事業本部長
三村 富士男	岡山県 土木部長
宮津 智文	広島県 空港港湾部長
前田 陽一	山口県 土木建築部長

(臨時委員)

氏名	所属及び役職
Alan Wilson	Holland America Group(運航管理担当)
Jess Peterson	Windstar Cruise(開発/運航計画担当)
槇山 博之	尾道市 建設部長
岡野 晃士	(一社)せとうち観光推進機構 マネージャー
伊藤 篤	岡山県土木部港湾課 主任
佐藤 純一	香川県 交流推進課 主任主事
藤高 慎治	愛媛県土木部河川港湾局港湾海岸課 専門員
岩田 昌文	広島県土木建築局港湾振興課 ポートセールス担当監
宮川 正和	山口県土木建築部港湾課 主査
和田 久史	島根県観光振興課国際観光グループリーダー
田中 裕哉	境港管理組合 主事
井本 晴子	(株)せとうちホールディングス 企画本部 企画部
高橋 邦明	岡山県商工会議所連合会 幹事長
谷村 武士	広島県商工会議所連合会 幹事長
國重 敦生	山口県商工会議所連合会 幹事長

※船社の詳細については参考資料のとおり

中国地方整備局 港湾空港部
港湾物流企画室 宛て
FAX 082-511-3910

第2回 瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会 取材申込書

平成29年1月 日

所 属 名	
氏 名	ふりがな
連 絡 先	TEL
	FAX

瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会とは

1. 目 的

我が国は東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに訪日外国人客4000万人を目標に受入環境整備を進めており、地方への周遊を促すための広域観光周遊ルートとして、瀬戸内においては「せとうち・海の道」が観光庁によりルート認定されているところです。

瀬戸内の豊かな観光資源を活かし、更なる訪日外国人客数の拡大を図るためには、新たなクルーズ等需要の呼び起こしが有効で、そのためには、クルーズ船の寄港等に積極的な運航船社の掘り起しと、運航に必要なハード面、ソフト面の条件把握や、受入れに積極的な地方公共団体の掘り起しが不可欠となります。

そのため、瀬戸内におけるクルーズに興味を持つ船社等を招聘し、構想及びハード面、ソフト面における受入環境に関するニーズを把握し、受入れに積極的な地方公共団体と意見交換を行う場を設け、ニーズのマッチングを行うとともに、所要の港湾整備にもつなげていくことを目指します。

2. 取組体制

マッチングの機会の場を設けるため、国・港湾管理者・自治体・船社等により構成する「瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会」を平成28年7月に設立しました。なお、より実効性のある取組みとするため、瀬戸内における観光関連産業の振興を支援している「(一社)せとうち観光推進機構」のクルーズ支援に関する取組みと連携しています。

また、戦略的にマッチングを推し進める会議であることから、常に検討に加わって頂いている常任委員(国・県・関係団体)の他、会議のテーマ毎に関係する方々を臨時委員(プレゼンする船社とテーマに関係性の深い市町村)として加わって頂く体制としています。

3. 取組概要

次頁をご参照下さい。

第2回検討会参加予定の船社について

○ホーランド・アメリカ・グループ(Holland America Group)

世界最大のクルーズ運航会社、カーニバルコーポレーションの傘下。10ブランド中、4ブランドを扱う。招聘したアラン氏は、配船などの運航管理に携わる責任者を務める。

- ・シーボーン・クルーズ : 瀬戸内海へ寄港可能性の高い3万トン級の船を保有。プティッククラス。
- ・ホーランド・アメリカ・ライン : 3~7万トン級の中型船を保有。
- ・P&O クルーズ・オーストラリア : 3~7万トン級の中型船を保有。
- ・プリンセス・クルーズ : 我が国でおなじみのダイヤモンド・プリンセスを保有。

○ウインドスター・クルーズ(Windstar Cruise)

エーゲ海、地中海を中心にクルーズラインをもつ。1万トン級の小型船を6隻程度所有し、スモール・ラグジュアリーが売りの船社。

招聘したジェス氏は運航管理と共に新市場の開発にも携わっている。

瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会

第1回瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会

平成28年7月6日(水)16:00～ 中国地方整備局 港湾空港部 会議室

瀬戸内海の豊かな観光資源を活かしたクルーズ需要の呼び起こしのため、内航船社((株)せとうちホールディングス)との意見交換を行いました。船社から建造中のクルーズ船や水上飛行機の紹介、受入側への希望などが話され、受入側である尾道市より尾道水道の現況と課題、廿日市市より宮島口地区の整備状況の情報提供がありました。



(常任委員)

敬称略

氏名	所属及び役職
鈴木 徹	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 部長
木嶋 淳	国土交通省 中国運輸局 観光部 部長
鈴川 篤志	中国地域観光推進協議会 事務局長
村橋 克則	(一社)せとうち観光推進機構 事業本部長
三村 富士男	岡山県 土木部長
宮津 智文	広島県 空港港湾部長
前田 陽一	山口県 土木建築部長

(臨時委員)

氏名	所属及び役職
槇山 博之	尾道市 建設部長
河崎 勝也	廿日市市 建設部長
永堀 敬太	(株)せとうちホールディングス 企画本部 マネージングダイレクター
高橋 邦明	岡山県商工会議所連合会 専務理事
谷村 武士	広島県商工会議所連合会 幹事長
國重 敦生	山口県商工会議所連合会 専務理事

第2回瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会(今回)

平成29年1月31日(火)14:00～2月1日(水)15:00 グリーンヒルホテル尾道

瀬戸内海におけるクルーズに興味をもつ外航クルーズ船社(ホーランド・アメリカ・グループ、ウインドスター・クルーズ)の運航管理等に携わる方を招き、保有船舶の紹介や受入環境に関するニーズを聞くとともに、受入れを検討している港の港湾管理者より港湾施設の情報を提供します。また、外航クルーズ船社と、受入れに積極的な地方公共団体とのニーズのマッチングの機会として、個別面談を開催し、新たなクルーズ需要を掘り起こしていきます。